



第4回旭行動

出退勤の職員に650枚手渡す

周辺住宅、患者さんも含め1000枚のビラ配布



次々と受け取る職員

10月29日～30日に第4回旭行動を展開しました。今回の行動は、病院で働く職員に私たちの運動と病院が隠している不払い賃金問題を伝えようと位置づけ、旭市内に泊まり込みでの行動となりました。29日の退勤する職員と、30日朝に出勤する職員に対してビラを手渡し、その数は650枚となりました。職員に対して、不都合な事実を隠ぺいし続ける病院の体質を病院の職員と一緒に根本から転換していく、その運動を展開するための大きな第一歩となりました。

29日17：30からは、退勤する職員に対し「違法宿日直により不払い賃金が発生しているが、病院はそれを職員に知らせずに隠ぺいしている」「職員を大切ににし、地域の医療要求に真面目に応える病院に再生しよう」との訴えを載せたビラを配布しました。

30日には、7：40から出勤の職員に対してビラを手渡ししました。相当数の職員が一齐に出勤してくる中「病院問題のビラです」と声をかけると次々と受け取り、目を通しながら職場に入っていました。

途中から、病院の管理者が宣伝隊に対し妨害をしてみました。が、そうした中でも職員は次々にビラを受け取っていきました。

とうとう病院の正面玄関には、以下のような大きな張り紙が貼り出されました。明らかに私たちのためだけに貼り出されたもの。患者さんたちには全く理解不能で関係も無し。不都合の隠ぺいのためには何でも有りの病院の体質がこんなところにも。

不都合の隠ぺいに必死

病院側がビラまきを妨害 「この歩道は病院がつくった」?

歩道上でビラを撒いていると、河北人事課長が現れ「駐車場に宣伝カーを停めるな」「施設内でビラまきは止める」等と、前回の警察への通報や、要請団をビデオ撮影したなどの失態を取り戻すためか、居丈高に妨害を仕掛けてきました。間もなくすると、施設課長を名乗る職員も勇んで現れ「(市道を挟んで)向こう側は市がつくったが、こちら側の歩道は病院がつくったから、こっちは歩道では撤くなく、とんでもない理由をあげて妨害行為を仕掛けてきました。宣伝隊は直ちに「病院がつくった」

宮本隆ある日の活動日誌

10月10日(水)

- 朝8時過ぎ駅前病院行きバス乗り場でチラシ配布計10枚
- 一人早くバス待ちしていた年配女性(駅前近所?)と対話。今の中央病院に不満あり、待ち時間が長い。今もかかっているが、他にがかかるよう勧められる。家族は千葉まで通院している。チラシの内容に「こんな事がおこってるの?何をしたらいいかしら」署名用紙用意してなかったので地域医療学習交流集会計画していて、後日市民にお知らせするので是非参加して下さい、と伝えた。

10月24日(水)

- 07:40～旭市役所職員へ60数部 市役所南側住宅・商店へ10部配布 8時までは出勤職員がまばらだったが、受け取りの断りは数名だけだった。手を出したが歩きながらで市役所敷地内に入り手を引っ込めてしまった男性職員もいた。そんな中2、3歩戻って受け取ってくれ、「御苦労さまです」と声をかけてくれた女性職員がいた。
- 昼 旭市八地域に85部チラシ戸別配布これで旭市八(十日市場地域)の住宅密集地域はあらかた配布。



たと言っても、そもそも病院には市を通じて多額の国民の税金が投入されている。従って、この歩道は国民の財産であり、市道と同様病院の私有物ではない」として跳ねつけました。こうした私たちの対応に、妨害を仕掛けてきた職員たちも、8時過ぎには大人しく病院内に消えていきました。

香取・海匝の地域医療と自治体病院の役割を考える

学習交流会

2012年11月10日(土)
10:30～
旭市・干潟公民館